

11. 感覚器

Sensorineural Organs

【1】期間 2024. 4. 30～5. 20

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎谷戸正樹（教授，眼科学）
坂本達則（教授，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）
菅野貴浩（教授，歯科口腔外科学）

担当講座：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，眼科学，歯科口腔外科学

【3】授業の目的

眼，耳，鼻（副鼻腔），顔面，口腔，咽頭，喉頭，気管，頸部の形態と機能を学び，これら領域における疾患の原因，病態，診断，治療，予防について学習する。

【4】授業の到達目標

1. 眼およびその付属器の解剖を学び機能を理解する。
2. 眼科学的検査法と診断法を学習する。
3. 白内障，緑内障，網膜硝子体疾患，その他の代表的眼疾患の病態を理解する。
4. 白内障，緑内障，網膜硝子体疾患，その他の代表的眼疾患の治療法を学習する。
5. 内耳，中耳，外耳，鼻副鼻腔，口腔・咽頭，喉頭，気管，頸部の機能解剖を理解する。
6. 聴覚，平衡覚，嗅覚，味覚，嚥下に関する検査法について基本的な理解を深める。
7. 耳鼻咽喉科・頭頸部領域における疾患の病態，診断，治療について理解する。
8. 耳科手術，鼻内視鏡手術，頭頸部癌手術について基本的な理解を深めると同時に手術支援機器について学習する。
9. 顎・口腔・唾液腺・顎関節・顔面の解剖を学習し，その生理機能について理解する。
10. 顎・口腔・顔面に発生する疾患の病態・診断・治療について学習する。
11. 歯科口腔疾患の病態と全身および全身疾患との関連について学習する。
12. 周術期等口腔機能管理（口腔ケア）による全身との関連について学習する。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い，最終日に試験を実施する。

【6】キーワード

感覚器

SDGs：3. すべての人に健康と福祉を，4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

学習効果を試験やレポートで評価し，個人の到達度を見極める。

総合評価には試験成績の他に講義の受講状況，理解度確認テスト，講義レポートによる評価等も考慮する。

【8】参考図書（◎は学生が購入すべき図書，他は図書館に備えてあります）

1. Kanski's Clinical Ophthalmology: A Systematic Approach (9th Edition) :John F. Salmom. Elsevier

- ◎ 2. 標準眼科学 第14版：中澤満 他 医学書院
- 3. 新耳鼻咽喉科学 第11版：野村恭也、加我君考 南山堂
- ◎ 4. あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学：香取幸夫 他 中山書店
- ◎ 5. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 第4版：大森孝一 他 医学書院
- ◎ 6. 口腔外科学第4版：白砂兼光・古郷幹彦，医歯薬出版
- 7. 最新口腔外科学第5版：榎本昭二 他，医歯薬出版
- ◎ 8. 口の中がわかるビジュアル歯科口腔外科学読本，クインテッセンス出版
- 9. イラストでみる口腔外科手術 第1～4巻 野間弘康 他 クインテッセンス出版
- 10. AOCMF Surgery Reference, <https://surgeryreference.aofoundation.org/cm/trauma>
- 11. EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2010-2011：池田勝久，武田憲昭 中外医学社
- 12. 頭頸部のCT・MRI：多田信平 他 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 13. Principles of Oral And Maxillofacial Surgery volume1,2,3: Larry J. Peterson, et al..B. LIPPINCOTT COMPANY
- 14. An Atlas of HEAD and NECK SURGERY: Third Edition: Joseph M. Anain, et al..W.B. Saunders Company

【9】局所解剖

実施予定日 令和6年5月14日(火)
 実習部位 耳・鼻・頭頸部
 担当講座 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
 担当者 坂本達則、青井典明
 Key Words Otology, Rhinology, Laryngology, Neck dissection, Anatomy

実施予定日 令和6年5月14日(火)
 実習部位 口腔顎顔面部
 担当講座 歯科口腔外科
 担当者 管野貴浩、小林真左子、辰巳博人
 Key Words Oral and Maxillofacial Surgery, Clinical Dentistry, Anatomy